

一般会計歳入歳出総額

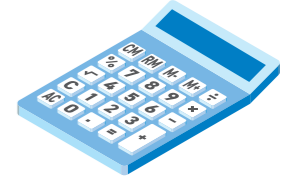
269億1,559万2千円

～ 市民の目線に立ち、小さな声も大切に市政を目指します ～

お問い合わせ 財政課 財政係 ☎0986-76-8803

歳入

自主財源のうち市税は所得割額定額減税による個人市民税分や固定資産税の減により4.9%減の31億3,476万円を計上。繰入金はふるさと開発基金繰入金やまちづくり基金繰入金など11.7%増の38億5,438万9千円。市の自主財源比率は35.8%で昨年度比0.7%減です。一方で依存財源のうち歳入全体の29.3%を占める地方交付税は78億9,636万2千円。地方交付税のうち普通交付税は前年度実績などを考慮し2.0%減の75億9,636万2千円でした。国庫支出金は自立支援給付費負担金や学校施設環境改善交付金など0.3%増の28億1,172万8千円。市債は庁舎改築事業など18.6%増の32億7,650万円を計上しました。



歳出

歳出の主なものとして、物件費は小学校の教師用指導書・デジタル教科書や大隅・財部支所庁舎整備事業にともなう備品購入費などの増により4.2%増の45億3,296万8千円。扶助費は生活保護扶助費などの減により0.8%減の43億7,904万3千円。補助費は地域商品券発行事業および学校給食費負担軽減補助金などの増により8.7%増の29億1,737万6千円。普通建設事業費は大隅・財部支所庁舎整備事業および本庁舎大規模改修事業などの増により6.5%増の41億7,092万7千円。公債費は償還元金および利子の増により1.2%増の27億8,536万9千円となりました。

会計予算規模

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	
一般会計	269億1,559万2千円	262億7,000万円	6億4,559万2千円	2.5%	
特別会計	国民健康保険特別会計	55億4,594万4千円	55億5,245万3千円	-650万9千円	-0.1%
	後期高齢者医療特別会計	7億955万3千円	6億4,432万6千円	6,522万7千円	10.1%
	介護保険特別会計	56億1,990万3千円	59億5,939万6千円	-3億3,949万3千円	-5.7%
	生活排水処理事業特別会計	6,857万4千円	6,727万6千円	129万8千円	1.9%
	小計	119億4,397万4千円	122億2,345万1千円	-2億7,947万7千円	-2.3%
水道事業（支出計）	8億5,218万1千円	10億7,203万4千円	-2億1,985万3千円	-20.5%	
公共下水道事業（支出計）	3億3,163万8千円	4億3,131万円	-9,967万2千円	-23.1%	
合計	400億4,338万5千円	399億9,679万5千円	4,659万円	0.1%	

※ 水道事業会計・公共下水道事業会計は収益的支出と資本的支出の計。

令和6年度施政方針 曾於市長 五位塚 剛

はじめに

曾於市への新しい人の流れをつくり、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安定した雇用を創出し、市民が安全・安心を実感できる社会となるよう全力を尽くしてまいります。

施政方針概要

1 人口増対策

新たな取り組みとして新婚世帯や転入した子育て世帯に、曾於市の米・肉・野菜を支給する「食の支援」対策に取り組みます。また住宅取得祝金や移住・就業支援金制度などの「定住・移住対策」も引き続き推進します。

2 情報発信

市報そややコミュニティFM放送・市ホームページ・ラインなどの各種SNSなどで積極的な情報提供に取り組めます。

3 子育て支援

妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型支援の充実や経済的負担軽減の生産・子育て応援給付金の一体的実施および地域で助け合いながら子育てをする相互援助活動の実施を進めます。

4 南九州畜産獣医学拠点事業

令和6年4月から運用を開始しました。施設の運用は指定管理者制度を導入し、関係機関と連携を強化しながら早期の安定運営を目指します。

5 庁舎整備事業

老朽化している施設の改善および防災拠点施設としての役割を充実するため、令和7年度開庁に向けた大隅・財部両支所庁舎の整備を進めます。老朽化の進む本庁舎の改修も、令和7年度までの2か年計画で取り組みます。

6 産業の振興

畜産を中心とする農業のまちであり、農業生産額を増やすことを本市発展の基本と掲げます。耕種部門は担い手の育成確保、農地の集積・集約、省力化と畑かん営農の推進、環境保全型農業の推進に取り組めます。特産品であるゆずは、搾汁センター増設による一次加工の効率化を目指します。また農業公社の受託事業をさらに拡充しながら、コントラクター事業も拡充し、畜産農家の規模拡大を図ります。さつまいも・水稲などへの有害鳥獣対策もさらに進めます。畜産は生産基盤の拡大を図るため、導入保留対策や家畜改良を計画的に進め、飼養管理の省力化と多頭化を図るための生産基盤施設の整備に取り組めます。

7 ふるさと納税

令和5年4月から令和6年3月までの1年間で、約7万8千件、17億円を超える寄附金をいただきました。令和6年度も全国的なPRと地域活性化に努めます。企業版ふるさと納税は、令和3年度から令和5年度までに2億円を超える寄附金をいただき、地方創生大臣からも高い評価をいただきました。今後も引き続き、企業の皆さまへ制度の趣旨について丁寧な説明に努めます。

8 災害復旧事業

昨年、台風などにより市道・河川・農地・農業用施設で災害が発生し、農産物にも被害が発生しました。防災減災のための予防保全対策に取り組みなから、1日も早い復旧に努めます。防災対策では危機管理監を採用し、防災体制および危機管理体制の対応能力の向上を図ります。

9 ひとまちづくり

コンパクトシティを取り入れ立地適正化計画を整備します。またエリアビジョンを作成し公民連携によるまちづくりを模索していきます。

10 学校教育

確かな学力を身につけ自立する力を育む教育の推進と、豊かな心を育み健やかな身体と体力の増進に取り組めます。末吉小学校改築は基本計画に基づき設計を行います。またGIGAスクールにおいてICT機器の活用を一層推進

11 健康・生きがいづくり

新地公園グラウンドゴルフ場は、これまで15万7千人を超える方々にご利用いただいています。今後も施設の充実とサービスの向上に努めます。

令和6年度の予算編成は①市民にやさしい市政運営 ②人と自然を生かした活気ある地域づくり ③教育・文化を促進し、心豊かなまちづくり ④人口増を目指す、地域活性化の推進 ⑤農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくりの5つを基本方針として限られた財源の中で、市民の福祉・教育・くらしを守るための予算として編成しました。

その結果、令和6年度の一般会計当初予算は前年度当初予算に対して6億4,559万2千円、2.5%の増となりました。また特別会計予算は前年度当初予算に対して2億7,947万7千円、2.3%の減となりました。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



地域資源を活かし、活力とにぎわいのまちづくり

サツマイモ基腐病排水対策事業

1億7,927万円

サツマイモ基腐病のまん延防止や発生予防を図るため、排水対策や土層改良に対して支援します。



思いやりふるさと寄附金推進事業

27億5,483万2千円

思いやりふるさと寄附金の募集や特産品の発送による、全国的なPRを推進します。



曾於市の返礼品

市民生活の土台を守るまちづくり

道路維持事業

2億8,793万1千円

生活環境の保全や施設の耐用期間の延命を図るため、道路や側溝などの補修などを実施します。



消防車両購入事業

6,570万1千円

市民の生命・財産を水火災から守り、迅速な消防活動を行うため、消防車や付属備品の更新などを行います。

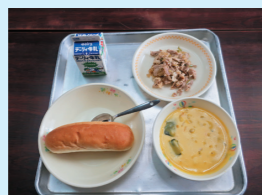


個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

学校給食助成事業

1億3,088万4千円

保護者負担軽減のため給食費の全額補助を実施します。



学校給食センター施設整備事業

5億1,819万円

学校給食を安定的に提供するため、市内4か所の調理場を統合し、新たな学校給食センターを整備します。



建設中の新学校給食センター

予算を一般家計にたとえてみると

令和2年市町村民所得推計で換算

令和6年度一般会計予算を曾於市の一世帯あたりの平均所得に置き換えてみました。支出474万8千円に対し、収入の自主財源は35.8%・170万4千円です。そのため収入の残り64.2%・304万4千円は依存財源に頼っています。

収入			支出			
	項目	金額	項目	金額	構成比	
自主財源	給料(市税)	55万3千円	食費(人件費)	58万円	12.2%	
	パート収入やアパートの家賃収入など(使用料・手数料・雑収入など)	46万2千円	光熱水費・日用雑貨(物件費)	80万円	16.9%	
	預金の取り崩し(繰入金)	68万円	家などの修理(維持補修費)	6万3千円	1.3%	
	前年度からの繰越金	9千円	医療費(扶助費)	77万3千円	16.3%	
依存財源	親からの仕送り(地方交付税・国県支出金など)	246万6千円	自治会費・サークル費(補助費など)	51万5千円	10.8%	
	借金(市債)	57万8千円	家の新築増改築費(普通建設事業費など)	74万2千円	15.6%	
			ローンの返済(公債費)	49万1千円	10.4%	
			定期預金(積立金)	33万7千円	7.1%	
			子どもへの仕送り(繰出金)	44万2千円	9.3%	
	合計	474万8千円	100.0%	予備費	5千円	0.1%
				合計	474万8千円	100.0%

※()は予算上の区分を表しています

希望が叶い 安全・安心な曾於市にむけた

おもな事業を紹介します

市民主役の協働のまちづくり

自治会振興助成事業

5,050万8千円

各自治会に行政連絡員を配置し、自主的活動が展開出来るよう円滑な推進を図ります。



大隅・財部支所庁舎整備事業

17億6,186万5千円

災害時の防災拠点施設の充実と機能的な庁舎を整備することで、住民サービスの向上を図ります。



大隅支所 財部支所

南九州畜産獣医学拠点事業……3,662万4千円

財部高校跡地に整備した南九州畜産獣医学拠点で、産官学連携により基幹産業である畜産の持続的発展や将来を担う産業動物獣医師の育成を図る。全国の獣医学部生などの実習受け入れや馬エリアでの交流人口の増加を図ることで、市外からの新しい人の流れを作ります。



市民のこころ安らぐまちづくり

子ども・子育て支援給付費

15億143万6千円

特定教育・保育施設に施設型給付費を支給することで、子どもの健全育成や保育・幼児教育の充実を図ります。



健康増進事業

6,573万3千円

疾病の予防・早期発見・早期治療により健康寿命の延伸を図るため、各種検診や健康相談などを実施します。



市民一人あたりの予算

令和6年3月1日現在の住民基本台帳人口で換算

【歳入】市民1人あたりの市税負担額 95,519円

市民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ税
31,078円	53,504円	5,624円	5,313円

予算を市民一人あたりに換算すると歳入のうち「市税」は9万5,519円の負担で、歳出は82万147円となりました。歳出を目的別にみると最も多いのは福祉のための民生費です。

歳入9万5,519円と歳出82万147円の差は72万4,628円ですが、この不足額の大部分が地方交付税や国・県からの支出金、市債(借金)などでまかなわれることとなります。

【歳出】市民1人あたりの予算額 820,147円

おもな経費

民生費	総務費	商工費	公債費	教育費
239,497円	134,141円	98,632円	84,873円	73,848円
子ども・高齢者・障がい者などへの福祉関係全般の事業に要する経費	庁舎や財産の管理・選挙・戸籍や市税の賦課徴収など行政運営に要する経費	商工業や観光振興・思いやりふるさと寄附金推進事業などの経費	市の借入金返済に要する経費	学校や教育施設の整備・生涯学習などの経費
農林水産費	土木費	衛生費	消防費	議会費
61,719円	53,965円	39,491円	26,337円	5,632円
農業・畜産業・林業などの振興のための事業に要する経費	道路・橋・河川・公園など住環境を整備する経費	保健衛生や環境などの健康で衛生的な生活を送るために要する経費	火災や風水害などの災害から生命と財産を守るための経費	議会の運営に要する経費